

日常の暮らしを支える喜び

医療法人「康生会」淀川平成病院
(大阪市東淀川区)
リハビリテーション部副主任

瀬尾 諒さん



「食事」「洗顔」「料理」「字を書く」などの日常の暮らしのなかで、「その人らしい」生活ができるように支え、リハビリテーションを行う作業療法士。身体面のリハビリだけでなく、患者さんの「こころ」にもしっかりと向き合うことが求められている。医療法人「康生会」淀川平成病院(大阪市東淀川区)リハビリテーション部副主任、瀬尾諒さんに作業療法士の仕事についてお聞きしました。

—いま、どんな仕事をされていますか。

仕事の内容はとても幅広いです。いまは、患者さんが急性期から退院されても自宅に帰れずリハビリテーションが必要な時、ご自宅で安全に生活ができるようにトイレやお風呂など身の回りのことができるように練習をしています。患者さんに合わせて福祉用の道具を作ることもしています。作業療法士の「作業」とは、食べたり入浴したり、家事や仕事、趣味活動など人が関わるすべての諸活動のことを指します。病气やけが、心の病、認

—どうしてこの仕事を選んだのですか。

祖母が糖尿病や股関節の病気でクリニックに通うのを付き添っていました。祖母とは仲が良く、おばあちゃん子だったので、将来的に医療関係の仕事に進みたいと思っていました。高校3年生で進路を決めるとき、先生に「作業療法士が向いているのではないかな」と勧められ、この仕事を選びました。大阪医療福祉専門学校で3年間学んで国家資格を取得。西宮市内の病院に4年間勤めたあと、2年前に開設した当院で働いています。

—実際に働いてみていかがでしたか。

現場ではどこまでが作業療法士の仕事な



職場のスタッフと(後列右から2人目)

知症など、様々な要因でその人らしい「作業」が行えなくなつたとき「作業」に焦点を当てて支援しています。

—理学療法士との違いは

理学療法士と作業療法士のどちらもありリハビリテーションに関わる仕事ですが、その内容は異なります。理学療法士は、ケガや病気で身体が思うように動かない人に対して、「立つ」「歩く」「座る」「寝る」などの基本的

のか、職域が広いので役割が様々で難しかったですね。周りのスタッフに教えられ、悩みながら続けてきました。

新人の時に脳に障がいのある女性を担当し、入院から約5カ月間、リハビリテーションをしました。退院時に「別れるのが寂しいけど家に帰れるまで良くなってよかった」と言われて、うれしかったですね。患者さんがそれまで生きてきた人生を知り、ご家族を理解し、寄り添いながら「その人らしい」社会復帰のお手伝いができたときの喜びはひとしおでした。

—コロナ禍で困ったことは。

当病院が開設したとき、まさにコロナ禍の真っ只中でした。患者さんとご家族の間の対面での面会もできず、院内の見学もできませんでした。患者さんのリハビリテーションをめぐってご家族との情報の共有もしにくく、いろんな行動が制限されました。患者さんとのコミュニケーションをどのようにとればいいのか、悩みましたね。

—最近、うれしかったことは。

若い男性の理容師さんの職場復帰につきあいました。その方はリハビリテーションを続けるなかで家庭的な経済負担も重なり、ずいぶん落ち込んでおられました。そこで私は自宅からバリカンを持参し、私の髪を切ってもらいながら、その理容師さんの悩みを聞きました。そのうちに自信を取り戻され、うまく社会復帰されました。この仕事にやりが

動作能力の回復・維持を目的に、運動やマッサージ、電気や温熱など理学療法に基づいたリハビリテーションを行う専門職です。一方、作業療法士は、「箸を持つ」「服を着る」「手を洗う」などその人らしい生活ができるように援助します。患者さんの一人ひとりが必要とする作業はさまざまで、患者さんの希望を聞き、ご家族と面談をしたりしながら、作業を決めています。

—具体的にはどのようなことを。

まず、患者さんの困り事や家に帰るにあたって必要な情報を収集します。次いで、生活面で必ず必要となる動作のリハビリテーション(応用的動作練習)があります。食事、トイレ、家事、入浴などの日常生活で必要となる動作のリハビリを行い、退院後の生活に困ることがないように練習を行います。

また、地域コミュニティへの参加や仕事、趣味のためのリハビリテーション(社会的動作能力練習)も行います。外出して散歩をする練習や地域コミュニティ参加のためのサポートやパソコンの操作や計算といった就労に役立つ技能の練習、レジャーを楽しむための援助など生活しやすい環境づくりのために支援しています。



淀川平成病院(2020年3月開設)

いを感じましたね。

—オフの時間はどうされていますか。

アウトドアを楽しむ、仕事のストレスを発散しています。毎月1回程度、ゴルフを楽しみ、サーフィンに熱中したこともありました。

—いま、どんな患者さんが増えていますか。

新型コロナウイルスに感染後、全身の筋力低下をおこし「寝たきり」になって以前出来ていたことができなくなつてしまつた方が多くなりました。隔離期間中に「寝たきり」にならないように、患者さんが一人でできる自主トレーニングをメインに筋力の回復に努めています。足首の運動やベッドのそばで簡単にでき

—どんな一日を過ごしておられますか。

いま、リーダー職をしていますので、毎朝患者さんの情報を集め、スタッフのスケジュールを調整します。そして朝から夕方まで患者さんのリハビリを行います。当病院では極力、残業がないように業務負担を調整しています。



くらしの目標を語り合う瀬尾さん



リハビリする瀬尾さん

るスクワットなどの練習を実施しています。

—この仕事にはどんな人に就いてほしいですか。

臨床の現場では、いろんな患者さんがおられます。それぞれに十分にコミュニケーションをとりながら、人間的に対応しなくてはなりません。とにかく真面目に患者さんに向き合ってもらえる人ですね。

病院内には電子カルテが普及して、患者さんの情報はすぐに分かるようになっていますが、私は極力、患者さんに直接会って話をするように心がけています。

○作業療法士になるには。

英語では、「Occupational therapist」と言い、日本ではOTと略されます。4年制大学、短期大学(3年制)、専門学校(3年制・4年制)で多岐にわたるリハビリテーションに関する専門知識を身に付ける。早く現場に出たいなら3年制、じっくり学びたいなら4年制に通って国家試験の受験資格を得て、国家資格を取得します。職場は、病院や障害者・高齢者施設はもちろんのこと、訪問リハビリや行政、就労支援事業所、特別支援学校などさまざまです。

○施設概要/医療法人康生会淀川平成病院

〒533-0033 大阪市東淀川区東中島6丁目9番3号 電話06-6326-7100

診療科は内科・リハビリテーション科。

病床数:回復期リハビリテーション病棟76床